



日章学園九州国際高等学校校長便り 霜月
 建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
 学園スローガン： **自分を磨け**
 学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和6年(2024年)11月1日(金) 校長 屋田伸仁



祝30周年えびの市国際交流センター



10月13日(日)はえびの市国際交流センター設立30周年を祝う記念行事が開催されました。地域から世界へ発展するえびの市の未来像を描いて、30年前に「国際学園都市構想」が生まれました。拠点施設として、えびの市国際交流センターができました。交流センターは、外国人との異文化交流や体験活動を活発に行い、「地域から世界へ心開かれた人づくり」を積極的に進めてきました。



記念行事の第1部では、これまで活躍してこられた国際交流員や留学生、留学生指導者の方々が集まってパネルディスカッションを行いました。苦労話あり、笑いや涙ありの楽しいひとときでした。第2部では、中国芸能・雑技が催され、獅子舞、変面ショー、アクロバットショーなどが披露されました。会場はどよめきと拍手喝采で大盛り上がりでした。

さて、来年はいよいよ、本校の創立30周年の年です。30周年という、この大きな節目に一般生と留学生の国際交流を更に活発にし、また、地域からますます応援され、愛される学校を目指して、地域交流や地域貢献に取り組んでまいりたいと思います。

ありがとうございました！ 日本語交流(10回)



国際交流センターでは、えびの市ボランティアの方々を講師にして、留学生を対象に年間10回の日本語交流が実施されてきました。さて、文科省は外国語習得については、5つの力が必要だと言っています。「読む力」「書く力」「聞く力」「発表する力」「やりとりする力」です。「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能は以前から、言われていましたが、国際化が進み、「話す力」が2つに分かれました。一つは、「発表する力」です。弁論大会等での発表力や画面を見て、説明するプレゼンテーション力です。もう一つは「やりとりする力」です。会話ややりとりを続ける力、即興で会話できるコミュニケーション力です。大学入試、就職試験の面接で試されるのがこの「やりとりする力」です。留学生は日本語交流でボランティアの方々から優しく、楽しく教えていただき、おかげで日本語会話力が伸び、自信を得ることができました。ボランティアの方々に心から感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

異文化理解を深めよう 学びの秋から、実りの秋へ

秋が深まってきました。学びの秋、探求の秋です。国際高校である本校で学ぶ皆さんには、語学力はもちろん、その国の言語の背景にある異文化理解も深めて欲しいと思います。異文化理解は、違和感やカルチャーショックの連続です。知的好奇心をかきたて、おもしろいのです。ひとつ紹介します。

英語文化です。英語で、9月はSeptember、10月はOctober、11月はNovember、12月はDecemberです。Septemberのもとになった字は、7のセブンです。7なのに、9月です。2か月ずれています。Octoberのもとになった字は、8のオクトです。オクトパスはタコの足で、8本あります。8なのに10月です。Novemberのもとになった字は、9のナインです。9なのに、11月です。Decemberのもとになった字はデシです。デシは10分の1を表します。10は10dℓですね。9月から12月はどれも2か月ずれています。どうして？何か深い訳がありそうです。次の学校だよりで、英語の月の呼称のなぞについて答えたいと思います。生徒の皆さん、世界の異文化をいっぱい学んで、実りの秋、収穫の秋にしてください。

